

教学 IR 室 広報誌 *Bloomin'*

教育・研究に係る連携協定調印式 於：岐阜県立土岐紅陵高等学校



2025
Jan.10
Vol.7



第2回学長ワークショップ【看護学部】

2025年 年頭のご挨拶



新年あけましておめでとうございます。旧年中は大変お世話になりました。本年もどうぞ宜しくお願いします。

2025年は巳年（みどし・へびどし）です。一般的に知られているのは十二支の「巳（み）」ですが、より正確に言えば「乙巳（きのとみ）」とされます。乙（きのと）は、十干の2番目で「木」の要素を持ち、草木がしなやかに伸びる様子や横へと広がっていく様子を表します。また巳（み・へび）は、神様の使いとして大切にされてきた動物で、脱皮を繰り返すことから不老不死のシンボルともされています。そのため乙巳の年は、「再生や変化を繰り返しながら柔軟に発展していく」年になるといわれています。

教学IR室は実働から5年目を迎え、これまでIRレポート、研修会、座談会、広報誌等、様々な取り組みをしてきました。現在、最大の課題として挙げられるのは、「IR活動の実質化」です。言い換えれば「IR活動をいかに実質的な教育改善につなげ成果を出すのか」という点です。この課題を克服するために、昨年度から「教学IR Ring」を策定して、実質化の流れをより明確にして取り組んでいます。

乙巳の年の意味が示す通り、どのような困難が訪れようとも諦めることなく柔軟な思考で変化をしながら取り組んで参ります。引き続き、皆様のご理解とご協力の程、宜しくお願い申し上げます。以上、簡単ではございますが、新年のご挨拶とさせていただきます。

学長 林 勇人

Pick up! IRレポート



IR室第35回レポートは、授業評価アンケートから事前事後学習時間について、分析を行いました。3年間の推移をみると経営学部では事前学習、事後学習ともに減少傾向にあり、その一方で看護学部では事前学習と事後学習ともに増加傾向にありました。教学IR室では、こうした分析など教学改革の推進を行う、きっかけを作り出しています。教学IR室としては、事後学習の少なさに危機感を感じており、また単に課題を多く出すのではなく、自ら学ぶきっかけづくりを目指してほしいと考えています。

教職員のみなさんは、本レポートを、どのように受け止めましたか？

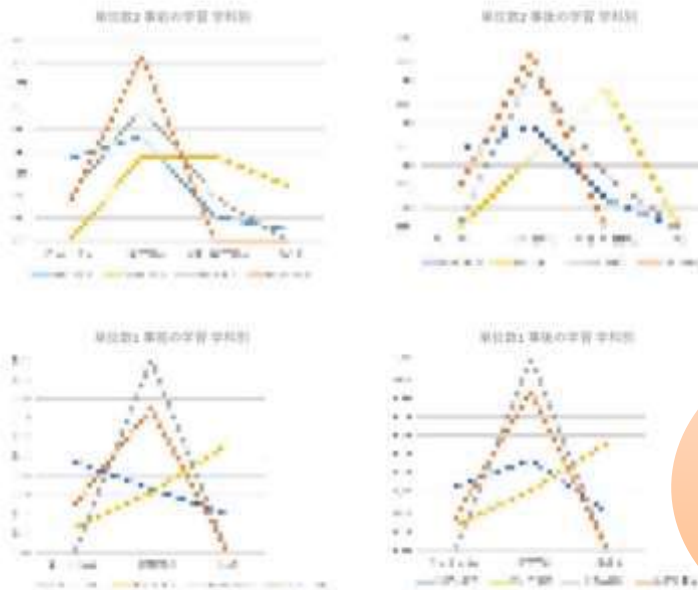


図5. 事前事後学習時間における学科比較
【IR室第35回レポート, p8より】

毎回、時事ニュースについて200字以内で自分の意見を交えて記述する課題を出している（身近な内容を扱うことで無理のない範囲でできるもの）。ニュースを知ることによって法律や経済にも興味をもってもらえ、同時に世の中の動きに敏感であってほしい。

アンケート等で学生の生活実態を把握し、他部署と連携し学習時間について検討してみるのもよい。

データの正確性が前提だが、学年、学科ごとの詳細の分析もあるとよい。



【参考】評価配分について

- A 先生: 小テスト30%、定期試験70%
- B 先生: ミニテスト&レポート40%、定期試験60%
- C 先生: 授業内課題の積み重ね
- D 先生: グループワークでの発表の中身(評価配分大)、アクティブラーニングでの発言等(加点対象)



授業内で課題を出し（Forms使用）即採点→時間内に返却することで自身の理解を把握でき、事後学習につながっているかもしれない。

学習時間が少ない要因として、勉強の仕方がわからない学生が増えているかもしれない。学部をあげて対策を練るというのも有効なのでは？

第2回学長ワークショップ

小規模大学ならではの学びやすい環境

2024年9月27日、今年度第2回目の学長WSは看護学部の学生会を中心とした21名が参加しました。

今回のWSはワールドカフェ形式により話し合いを進めました。

★魅力・価値について

- ・先生との距離が近く手厚いサポートがある。
- ・地域から必要とされており交流が盛ん。
- ・保健師合格率100% 等

★進化・深化について

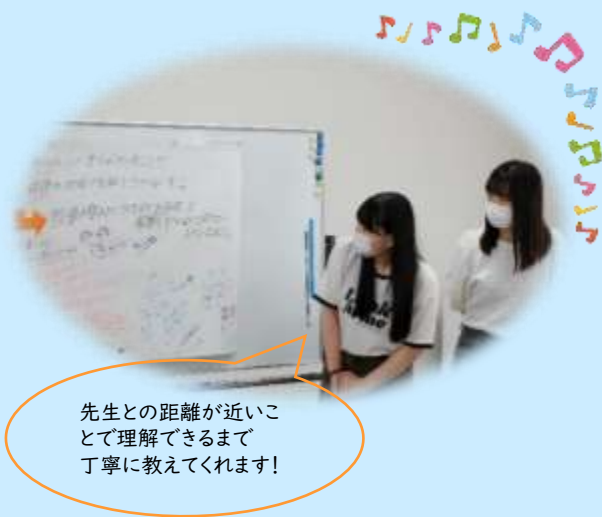
- ・他学部や他学年との交流を図る。
- ・研究室の場所を学生に近い場所にする。
- ・看護学に関する備品、教材を増やす。
- ・学習の一環として大学に地域の方を招く(バイタル測定等)。等

この結果をもとに、今度の教育改善につなげてまいります。看護学部の皆さんありがとうございました。

次回、第3回は経営学部のみなさんと語り合います。

他の学年の人と話したり、いろいろな意見を聞けるの、良いよね～。

在学生から見た「本学の魅力・価値」とその進化・深化



参加した学生の声(抜粋)

- ・学生の意見を話せる良い機会!
- ・いろんな学年の人や他学部の先生が集まっているような意見を聞くことができた。
- ・自分だけでなく、他の人の考えを聞くことで考えが深まった。
- ・楽しみながら気軽に話せる環境がよかった。
- ・大学の魅力や価値をグループワークすることで自分のモチベーションにつながった!
- ・他の学年の人たちと関わることができて交流が深まった。
- ・学校生活が充実していることを実感できた。
- ・大学の魅力や価値を再確認できた。
- ・先輩たちの姿をみていて、まとめ方や話し方がとてもきれいで、自分も取り入れていきたいと思った。
- ・自分では気づかない視点を知ることができた。
- ・大学の良さや全体のことをあらためて考えることができた。
- ・学長先生が実際に足を運んでくださり、学生の声を聞いてくれるというのは、この学校の先生との距離が近いという魅力からくるものだと思う。

Information

- ◆2024.10.30 プレゼンテーション大会「彩イロドリ」入賞特典🏆
Mid FM「カナメヤのキャンパスジャックラジオ」生出演!
(経営学部1年:佐藤響さん、森和暉さん、短期大学部保育科1年:西山桃奈さん)
9月に行われた大会を振り返りつつ、公共の電波に乗せて本学の宣伝に一役買いました!リスナーからはプレゼンに使用する資料が手書きであることに驚きと共に反応上々📈
- ◆2024.11.11 岐阜県立土岐紅陵高等学校 中京学院大学との教育・研究に係る連携協定調印式
本協定は、双方が教育・研究に係る連携を推進し、相互の教育・研究の発展に資することにより、生徒及び学生の能力の伸長を図ることを目的とするものです。具体的な連携事項は以下の3点です。
・教育プログラムの共同推進、地域貢献の推進、学生、生徒、教員の相互交流
併せて、高校生が大学の授業を履修することにより専門教育に対する理解を深めるとともに、学ぶ意欲や更なる向学心を発揚することを目的とする特別科目等履修生に関する協定締結も行いました。
- ◆2024.11.28 第3回 東濃5市定期ミーティング開催
看護学部にも焦点を当てた今回は、保育士同様、看護師不足が5市共通の課題として挙げられました。看護体制を10対1にすることで質保証が難しいこと、修学資金の貸付が増加するも完済と同時に退職し名古屋方面へ転職する等、現場の声ならではの深刻な状況が浮き彫りになりました。引き続き、本学として何ができるかを検討し、5市の皆さまと手を携えて地域創生に努めて参ります。
- ◆2024.12.12 令和6年度自己点検評価報告会
- ◆2024.12.24 全学SD研修会 ~教職員から見た「本学の魅力・価値」とその進化・深化~
在学生と同テーマでブレインストーミングによるグループワークを行いました。

詳細は
次ページへ





～ 本学に関わる様々な人の声をお届けします ～

2017年3月 短期大学部保育科卒 肥田あかりさん(旧姓:長瀬)

卒業後は公務員として地元で働き、ご結婚による他県への転居に伴い退職。その後も、新たな場所で私立園の保育士として妊娠出産を経て現在も活躍されています。

私にとって短大生活での一番の思い出は、学科や立場関係なく沢山のひとと出会えたことです。全国から集まった人達と同じ目標に向かって学べた2年間は、とても貴重な時間でした。

私は元々座学が好きでしたが、実際の保育の現場では、皆で協力して作り上げていく実践型の講義や保育発表等で得たものが特に役立っています。保育は子どもや保護者、同僚等、人とのコミュニケーションがとても大切な仕事です。今勉強が苦手不安な人も、それ以上に、沢山のひとと接して多種多様な考え方を知っておくことで自信に繋がると思います。本学は実習も充実していると思うので、失敗を恐れず、まずは積極的に子どもとの時間を楽しんでみてください。

保育の仕事はととても奥深く面白いです。これから保育士を目指す皆さんを応援しています。



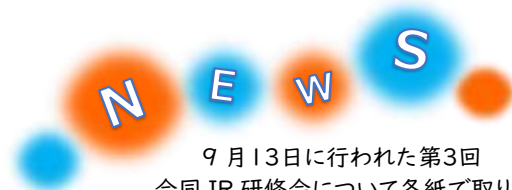
令和6年度 自己点検評価報告会



2024年12月12日、瑞浪キャンパスにて開催しました。この報告会は、令和5年度自己点検評価報告書に基づき、本学の教育について外部の評価員の方をお招きし(行政・教育関係・専門職者等)、教育内容を振り返るという全学的取り組みとなります。

外部評価員の方々からのご意見(抜粋)

- ・3年前に大学と連携協定を結び、毎年ステップアップしながら活動している。目先のことではなく、東濃地域全体を盛り上げる精神と人づくりを連携して行うことが大切であると感している。
- ・プレゼンテーション大会「彩イロドリ」は出場した生徒から他の生徒にも波及し相乗効果が得られ、今後も継続してほしい。
- ・保育士の魅力について、高校1年生に話してもらおうとその後の進路選択の選択肢に入る可能性あり。
- ・就職のミスマッチが生じており、離職者について大学としてのフォローアップ体制が確立されているのか知りたい。
- ・ディプロマサプリメントは非常に有効だと思われる。
- ・スポーツで入学する学生とドローンの今後の発展性は？(情報科目との結びつきも含む)
- ・学生のモチベーションアップの方法として、ディベート等により学生自身が議論し形にすることが大切。
- ・将来を見据えながら自分で行動し、違うところを改善するという繰り返しができる人材をめざすことで千差万別なものが出てくる。それが学生達の基礎となり成果となるのではないか。
- ・入学者のターゲットは？将来的にどのような方向性、どこを狙うのか？
- ・ウェブサイトを見ると、学部によっては何が出来て何を伝えたいのかが分かりづらい。
- ・高卒で就職は地元、進学は県外へという傾向があるため、中京学院は地元就職するというハブのような大学になるとよい。
- ・現場において最も大切なことはコミュニケーションである。自分から発信する力が弱いので、在学中から人前で話す機会をできるだけ多く経験してほしい。
- ・文章校正力や読解力は必要。文章の書き方、まとめ方の基本を学び、事実を書くだけではなく、自分がどう感じ、どうしたいのかを書けるように。
- ・主体性
- ・自分ならどんなことにワクワクドキドキするのかという視点を持ってほしい。
- ・デジタルに弱い学生が多い。エクセル・ワードの基本は押さえておいてほしい。



9月13日に行われた第3回 合同IR研修会について各紙で取り上げていただきました。※掲載許諾済
詳細は本学ウェブサイトへ↓
IRの取り組み | 大学案内 | 中京学院大学・短期大学部



本学は令和5年度(一財)大学・短期大学基準協会による認証評価の結果、適格と認定されました。



本学は令和5年度(一財)大学・短期大学基準協会による認証評価の結果、適格と認定されました。

Bloomin' とは？

種を蒔き、芽が出て膨らみ花開くように、
教学IR室の様々な発信が本学の発展につながるようお願いをこめてつけました。



編集・発行



中京学院大学

教学IR室 広報誌 Bloomin'

第7号 2025年1月10日発行

〒509-9195 岐阜県中津川市千旦林 1-104

TEL : (0573)66-3121

URL : <https://www.chukyogakuin-u.ac.jp/>

E-mail : ir-room@chukyogakuin-u.ac.jp